

とうきょう すくわくプロジェクト 活動報告書

園名	なごみ第二保育園
活動日時	2024 年 12 月 19 日(木)
クラス名(年齢)	いるか組(3 歳児)
年間テーマ	音の探究活動

1. 活動テーマ

<テーマ>

音を表現してみよう

<テーマの設定理由>

歌や踊りに興味を持ち、クラスとしてリトミックを楽しんでいる。また、他者に興味を持ち一緒に活動したり協力することを楽しむようになってきているため、耳から入ってくる音や音楽を保育者からの働きかけによって全く違う方法で表現することを楽しめるのではないかと考えた。

2. 活動スケジュール

- ・音楽や音を聞いて、絵・模様で表現する。
- ・気の合う友達とグループになりそれぞれが感じた気持ちや感覚を共有する。

3. 環境をデザインする(準備した素材や道具、環境設定)

・ピアノ ・クレヨン ・画用紙

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・4人ずつのグループに分かれる。
- ・きらきらぼし、さんぽのような馴染みのある音楽から日頃リトミックでも用いている高い音・低い音・階段などを鳴らしてどう感じたか子どもたちがクレヨンで表現する。
- ・活動の合間に各グループの作品を見せ合ったり、保育者がピアノの音に対して言葉でも補足説明をしていく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
・グループに分かれてから活動の説明を聞く。 ピアノの音を聞いて感じたことをクレヨンで描く。 音楽が鳴っている間は描いて、止まったら手も止めると普段のリトミックのような要素も入れている。	
・きらきら星を聞いて「どんな形・色かな」という保育者の質問に「ぼくは赤と白」など自分の思ったようにクレヨンで表現している。 ・低い音が鳴ると「石がボカーンと落ちてきた！」と点を力強く描く。軽快なリズムの音楽では音の鳴る間は線を描いたり、ゆっくりな音になるとクレヨンを優しく音が鳴らないくらいの力加減でトントン点を描く。	
・ところどころで保育者が「明るい色だね」「トントン歩いたように描いたね」のように各グループの作品を見せ合う。「宇宙にした」「ほしもある」など絵に対しての説明を子どもたちがして達成感を得ているように見える。	
・完成した作品の一部。	

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・童謡はタイトルや歌詞に沿った絵を描くと思っていたが、きらきら星に対して「赤と白にする」のように自由な取り組みをしている子がいてその感性を大事にしたい。年齢が4, 5歳になると歌に沿ったものを描きそうなので“音”のほうで活動が面白くなりそうである。
- ・低い音を聞いて「石がボカーンと落ちてきた」という子どもの表現を保育者が拾って周りに伝えたり、子どもの姿を言葉にしていくことで他の子ども友だちの表現の仕方に興味を持ち、活動が広がっていった。小グループにしたことで4人で1つの作品を作ったことの達成感を得られ、友だちと表現する喜びにもつながっていった。